

## 第 22 回 かたの環境を考える委員会

### 概要

- ・日時：2011年8月23日（火） 18:30～20:30
- ・場所：交野市役所 別館3階中会議室
- ・テーマ：プロジェクト立案、ビジョン検討

### 進行・内容

18:30

交野市環境保全課長より開会の挨拶。

18:31

環境市民事務局長 堀孝弘より、今日の委員会がロードマップ上のどこに当たるかについての説明と、本日のスケジュール紹介。

18:40

事前に行なった第1回世話人会での議論内容を説明の後、全体で意見交換。結果は以下の通り。

- ・中間案発表会大会場企画：多数決により、大会場で2回やることに決定した。

11月26日(土)時間帯未定：市役所別館中会議室

12月4日(日)13:00～16:30：ゆうゆうセンター多目的ホール

- ・中間案発表会地区会場企画：計画が定まってからお披露目の意味で地区へ出向く。
- ・新しい仲間集め：発表会まではそれぞれのグループで声をかける。

19:10

各グループで議論。プロジェクトを考える。

21:27

全体会で、各グループの議論内容を発表、共有。

#### 【エネルギーグループ】

分野ビジョンを基本構想との関係から考え、太陽光発電普及プロジェクトを具体化した。

#### 【エコ生活グループ】

企画考案シートの検討をし、循環型社会推進室職員より交野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画のレクチャーを受けた。

#### 【まちづくりグループ】

4つの課題のうち3つに対するプロジェクトについて意見交換を行なった。来週も引き続きプロジェクト案を深める。



## 【自然環境保全グループ】

里山保全のプロジェクトについて検討した。

21:35 終了



## 中間案発表会について世話人会および全体会での議論の詳細

<世話人会での議論内容>

### 大会場企画

・日時・場所：下記のうちどちらか1日または2日共

11月26日(土)時間帯未定：市役所別館中会議室

12月4日(日)13:00～16:30：ゆうゆうセンター多目的ホール

・対象：誰でも

・協力：次回までに考えてくる（出た意見：TV、ラジオ、チラシを置いてもらう、招待状を送る、寄付を募る、市への登録団体にあたる）

・予算：会場費・消耗品・チラシ作成費については市で負担する

・タイムスケジュール（最大でも3時間以内）：

開会の挨拶＋委員会挨拶：5分

市長挨拶：5分

スケジュール紹介＋趣旨説明：5分

交野市環境基本計画とは＋全体ビジョン紹介：30分

テーマ別ビジョン紹介＋各プロジェクト紹介：15分×4グループ＝1時間

意見交換会：40分

閉会の挨拶：5分

（休憩・場面転換：10～20分）

### 地区会場企画（出た意見）

- ・計画のお披露目会でやってはどうか
- ・地区ごとではなく大会場を2回やってはどうか
- ・大会場で2回やるなら内容を変えたほうがよい
- ・1回やって反応をみてから考えてはどうか
- ・高校の文化祭などでやってみてはどうか



<全体会での議論内容>（出た意見）

- ・大会場で同じことを2回やるのはどうかと思う。なぜ2回ではいけないか？

- ・場所、日時が違うので参加の機会が広がり、2回やる意義はある。  
また、地区で何度もやるには、手間も時間も相当かかる。
- ・1回では天候等のリスクもある。
- ・中間発表であれば、地区でそんなにやる必要もないのでは。
- ・大会場で2回やる方がよい。1回は休日1回は平日の昼間等。1回では心もとない。  
市民の皆さんに来てもらいやすいように考えることが一番。
- ・1回でも2回でもこちらの熱意次第。人ごとでなく、自分でやらねば！
- ・何人の人を呼べば市民の意見を集めたことになるのか。  
全体で百数十人来ていただければ、おおよそ成功かと思う。
- ・回数は多いに越したことはないが、人集めに奔走するようでは本来的でない。

## グループ議論の詳細

### 【エネルギーグループ】

#### 1. 分野ビジョン（基本構想との関係から考える）

##### 基本構想との関係

前回、交野市総合計画「基本構想（82項目）」のうち、エネルギー分野と関係の深そうな項目を見つけ出した。

40 まちのあるものを探して、磨いて、魅力を生み出している

65 地球温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている

68 災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている（エネルギー自立の観点から）

これ以外に、エネルギー分野と関係が深い項目がないか、または基本構想にはないが、エネルギー分野のビジョンとしてふさわしい将来像としてどのような表現があるか、各自考えていることが「宿題」として出されていた。

9 五感を大切に... エネルギーだけでなく全体に関わるのでは。

46 毎日の暮らしに自然の恩恵を... この「自然」を「自然エネルギー」も含まれると解釈すれば、エネルギーグループのビジョンと関係が深いと言えるのではないか。

##### 基本構想以外から

「基本構想」以外で、エネルギーグループのビジョンとして、どのようなものが考えられるか。

- ・太陽の恵みをいかしているまち（または、「まち」を「かたの」に）
- ・太陽の恵みをいかしているスマートエネルギーコミュニティ

上記2案が出た。今後のプロジェクトの内容で、どちらを選択するか決めることにした。

## 2. 太陽光発電普及プロジェクトの具体化

ここまで、交野市内での太陽光発電普及のプロジェクト企画シートが出されていた。それらに盛り込まれたアイデア等を考慮して、この委員会およびエネルギーグループの役割や立ち位置について考えた。

### 基本的な考え

まず、「かたの環境フェスタ市民会議」で太陽光発電普及活動を実践されている委員から、将来世代のため太陽光発電などの自然エネルギーの普及が必要であること、将来的に事業として成り立ち雇用を生み出すこと、それを推進するリーダーシップを持った人材が必要であることなど、普及活動に込める思いなどを紹介してもらった。次いで、前回太陽光発電普及プロジェクトを紹介された委員から、高知県梶原（ゆすはら）町の事例などをもとに、事業として持続的に進めていく仕組みづくりの大切さが紹介された。

また、このような事業を進めるにあたって、原資をどのように捻出するか話題になった。ファンドなど市民がお金を出しあって、持ち家でない人も含めて、公平なサービスを受けられる仕組みを市民自身が創出することの必要性などが話し合われた。ただし、政府の太陽光発電電力の全量買取制度の内容によって大きな影響を受けるため、プロジェクトの詳細については、国会等の動向をみて検討を進めることになった。

委員から、大阪ガスが万博公園で実施されている太陽光発電等の展示会の紹介があり、こういった展示会が交野市内で実施されるにはどのような要件が必要か、事業者に尋ねた。それについて、委員から、かたの環境フェスタで、両社に毎年ブース出展してもらっていることなどが紹介された。

### 先行して取り組んでいる人たちとの関係、およびエネルギーグループの立ち位置

かたの環境フェスタ市民会議のように、すでに太陽光発電の普及活動に取り組んでいる団体や、今後そのような動きを創りだそうとする人たちが、この委員会やエネルギーグループに何を期待し、それぞれが何を担うのがよいか、基本的な立ち位置等について議論を進めた。

- ・ 市民向けの啓発等は、両者が協力して進めていくのがよい。
- ・ ファンドを設立するのであれば、広報等では両者が協力するとしても、お金の管理や運営は、市民団体側が行うのがよい。その際、ファンドの信用担保に市が何らかの協力できないか議論となったが、「現状では難しい」との見解が市から示された。
- ・ 市民共同発電所については、設置場所の開拓等、市や委員会の役割も大きいですが、発電機の設置と管理・運営は、市民団体側が担うのがよい。
- ・ 市民団体のプロジェクトを、市の環境基本計画のなかで、何らかの位置づけをすることで、

市民団体の活動がより円滑に進むようにしていく。金・人・場所など、どのような協力ができるかについては、今後検討していく。

・ 委員会やエネルギーグループの役割として、太陽光発電に興味・関心のある人にとって有益な情報の収集整理、発信があげられた。例として、メーカーパネルの性能比較、施工業者の実績、設置者の声、補助金情報などがあげられた。

・ 設置検討者に対するアドバイスができる「エコアドバイザー（仮称）」の養成も、委員会やエネルギーグループの役割としてあげられた。

次回に向けて

今回の議論をまとめ、それをもとに、次回、委員会の立ち位置や役割を明らかにしていく。

エネルギーグループのもうひとつの課題「省エネ - すめる」について、次回具体策を検討する。

「風の通るまち」を検討する。

「環境教育普及プロジェクト」を検討する。



## 【エコ生活グループ】

### 1. 考案シートの検討

- ・ 前回以降のグレードアップはなし。
- ・ 「生ごみ堆肥化プロジェクト」と「とかいなかライフプラザ」の連携  
上記2つのプロジェクトは関連性があるのではないかという議論をした。  
自ら生ごみ堆肥化をする人を増やす

まち全体で生ごみの堆肥化を行う

とかいなかライフプラザPJ

生ごみを堆肥化した堆肥を使って野菜を栽培し、その野菜をプラザ（カフェ）で使用

- ・ とかいなかライフプラザPJ

テーマ：食と農、食と生ごみ

意見) 食と農以外にも、この委員会であげられているようなテーマを加えていくこともできるのではないか。

食材：スーパーで捨てられるはずだったものや市場に出ないものを使う

意見)スーパーとの協働PJ(他の人が提案)と協働できるのではないか。

スーパーとの関係づくりがまず必要ではないか。

主体：シニア世代(マネジメント経験者)

意見)一緒にこのプロジェクトを行う人や組織との関係づくりから必要ではないか。

その他

意見)一つのカフェをつくりあげるのはむずかしいかもしれない。既存のカフェに、環境行動を提案し、実行するカフェを増やしてはどうか。

市や商連等が『道の駅』を考えているので、そこと協力するのはどうか。

次回までに

推進メンバーをどのようにして募るか

カフェを作るためのステップを具体的に

## 2. 交野市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画のレクチャー

説明：交野市環境部循環型社会推進室

内容：生ごみの堆肥化についての取り組み

<現在、取り組んでいること>

生ゴミ堆肥化の講演会、講習会の実施(2年前から実施、昨年度の実績は年2回)

各家庭で水切りを推進

生ごみ堆肥化に取り組んでいるところの視察(滋賀県甲賀市)

ごみの発生抑制(マイバッグキャンペーン)

<現在の普及啓発活動の問題>

- ・講師不足
- ・効果がつかみにくい(講習会参加後、本当に実施してくれているのかどうかわからない)
- ・講習会後のフォローはできていない(一度失敗するともう一度やろうという気分にはなりにくい)

<全体で回収し、堆肥化する仕組みをつくれぬ原因>

- ・市としては、本当に市民が分別して生ごみを出してくれるのかどうか不安。  
(生ごみが集まるかどうかわからず、プラントをつくる費用を出すのはむずかしい)
- ・コストの問題(生ごみが削減したとしても、処理費用は減らないだろう。逆に回収の手間などが増え、増えるのではないか)

Q.もし民間が、回収を担うとしたらどうか。

A. かまわないのではないか。甲賀市では民間が行い、プラントの稼働率が地元だけでは100%にならないので、他のまちのものも回収している。行政ではこれはできない。しかし、ごみの回収は業者さんの縄張りがあるので新規参入は難しいのではないだろうか。

<まとめ>

生ごみの回収ルート・堆肥化プラントをつくってしまえば、自宅で堆肥化しない/できない人の生ごみを回収することができるかもしれない。

しかし、そのためには、行政の不安（本当に市民は生ごみ回収に協力するのか）を解消することが必要。

そのためには、生ごみ堆肥化に関心をもつ市民を増やすことが必要  
小さくてもいいので、回収し、堆肥化するモデル実施が必要

次回は、とかいなかライフプラザ、生ごみ堆肥化プロジェクト以外を優先的に検討する。

宿題：上記2つのプロジェクトは、次回までに、今回の議論をもとにグレードアップする。



## 【まちづくりグループ】

### 1. 各チームの宿題発表と意見交換

課題 環境を大切に考えた観光をもっと活発にし環境のまちづくりにつなげていこう

自然満喫エコツアー

農業活性プロジェクト～都会にいても農業ができる～

<出た意見>

訪れた人に気づきをもたらすような案内人 普通の人でもやれる。

ガイドの講習や認定をしっかりとやる必要がある。

コースを歩いてみる必要 市民を巻き込んで、環境・景観への関心を喚起しては？

観光を考えるにあたっては、経済効果が出るようにしたい。ガイド料を取ることはガイドのスキルアップへの動機ともなるし、観光地から市街地へお弁当等商品が普及することもある。

農業活性プロジェクトでは、農業を始めたい人と休耕田を抱えている農家とをつなぐ、コーディネーターとしての役割を果たしたい。

市民農園ではなく、市外の人を含めた、農業を試しにやってみたい人を呼び込み、共同農場へ発展するようなもの。

最近、交野で NPO 法人を立ち上げ、そのような取り組みを始めた事例がある。

朝市のような作物を売れる場所も必要。「道の駅を作って欲しい」という声がある。

< 他の地域での事例 >

水俣市：環境マイスター、生活学芸員（暮らし方・普通にある物を見せる）。

### 課題 住民が主体になって、乗りたいバス・乗りやすいバスにしてゆく

交通弱者の子ども、高齢者、障害者がいつでも利用しやすいバス運行路線体系を構築する

住民主体の地域ニーズに合致した生活交通をつくるプロジェクト！

< 出た意見 >

現状では、路線、便数、バス停が市民ニーズにあっていない。

ゆうゆうバスのあり方・何を求めているのか市民の考え方を聞く必要性がある。

市民の声を「表」に出す。行政、事業者とも win-win の関係を築くために次にどうしたらいいのか。

課題 も含め、広く交野の交通はどうなったらいいのかを考えてはどうか。

ゆうゆうバス / 京阪バス / 自転車 / 自動車

< 他の地域での事例 >

醍醐コミュニティバス：行政を動かすために、まず民意を問い、7年間議論を重ねて作った。やさかタクシーに運行を委託。費用は広告を集めて捻出（醍醐寺・スーパーなど）。

四日市市のコミュニティバス

加西市のハッピーバス：NPO 法人が運営

よるバス（地元商店街が運営）：市民が京都市バスに委託した商店街振興のためのバス

### 課題 誰もが自転車で走りやすく、歩きやすい道づくり、みんなが自分のこととして考え解決してゆく

自転車に乗って、交野をより住み良い町にしよう！

< 出た意見 >

先進事例はあるのか。それを調べてみてはどうか。

道を作り替えるのは難しいのでは？

行政がやる気になるかどうか鍵。いかに行政を含め色々な人を巻き込めるか。

盛り上がりを作るにはどうすれば良いか。



市の道を自転車で走りやすい道にするためには

- ・自転車ハザードマップをつくる 呼びかけて皆で走ってみて作る。
- ・駐輪場で自転車メンテナンス（シルバー人材活用）

ドイツ・茅ヶ崎の類似事例、館林・吹田のシルバー人材活用事例紹介。

- ・交通安全教室 学校でやっている さらに地域で親子で 自転車免許証の事例。  
自転車の保有台数は分かるか？利用者が多いところをモデル地区に選定しては。

<ビジョンとプロジェクトに必要な視点>

- ・ビジョンをもう少し具体的にするため、さらに練る。
- ・何から始めたら人が集まり、どのくらいの時間をかけて、最終的にどうなればいいのかの設計図を書くイメージで、プロジェクト案を磨いてゆく。
- ・まずは、最初のきっかけをひねり出す。

宿題：各チームで相談し、担当課題の企画内容を深めてくる。

- ・深めたプロジェクトシートは次回の会議までに提出する。
- ・メール送信が可能な人は全員送信する。
- ・FAX の人は、市か環境市民に送付する。
- ・質問などはメール・FAX・電話で随時受け付け、回答や意見を全員で共有する。

次回は宿題を持ち寄り共有。さらに各案を深めるための意見交換を行う。



## 【自然環境保全グループ】

### 1.これまでのプロジェクト案の整理と議題の設定

里山保全：全般、仕組み（2件）、竹林、子ども、環境教育

川：水量の保全

今回は、里山保全の中でもすべてに関わる「仕組み」を中心に考える

### 2.里山保全のプロジェクトについての意見交換

<今回の議論>

- ・里山保全は、「交野市自然環境の保全等に関する条例」があり、仕組みはできている  
その仕組みをどう活用するか、どう周知するかが課題

- ・交野の里山に人を引きつける目玉を作り、観光地化したい
- ・花木を植えればいいのかという点と違ふ、生物多様性の保全との両立が必要
- ・どんな山にしたいのかのビジョンが必要
- ・交野の山はスギとタケが中心、広葉樹を増やす取組を、学校を巻き込んでやりたい
- ・ただ荒れているように見える山でも、その地主の思いがある
- ・税金控除など、山をきれいにしたところを応援する仕組みがほしい
- ・このプロジェクトに土地所有者を入れなければ
- ・所有者の OK が出なくても進められるような計画にして、まずスタートしたい
- ・突破口としてモデル地域を作りたい
- ・企業が CSR などでも里山に関わろうとしているが、PR やレジャーという側面が強い  
活動受け入れ団体はお金は入るが接待をしているようなもの
- ・ハイキングや山が好きな人が多いが、その人たちを活動者に変えるには？
- ・里山保全が産業と結びつけば無償ボランティアに頼らなくてもよくなる
- ・お金になること、税金による誘導やハイキング料の徴収はどうか  
交野の里山は規模が小さく事業が採算ベースに乗りづらい
- ・循環システムの構築、伐った竹の活用が必要 竹炭、チップ化

#### < 里山保全プロジェクトのここまでのまとめ >

- ・地積図を作る
- ・地権者を知る  
仲良くなる  
丁寧にヒアリング  
ニーズの把握  
役所の積極的関与 知恵と力
- ・つなぐ仕組みとその PR (わかりやすいパンフレット)

#### 宿題：

- (1) 農とみどり課への質問事項を 8 月末までに環境保全課の松川宛に送る。
  - (2) 里山保全活動をすすめる上での大きな三つの課題について、どんな解決案があるかを各自で考えてくる。
- ・人 (ボランティア) が活動を続けられる仕組み
  - ・お金の回る仕組み
  - ・地主の協力を得る仕組み

次回の予定：今回の達成点に、農とみどり課からの質問への回答と、宿題の結果を加え、里山保全のプロジェクトをまとめていく。また、可能であるなら地主の方の話を聞く。

以 上